

会 議 録

会議の名称		令和8年度 第1回春日学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和8年(2026年)年5月26日(火) 開会10:00 閉会11:30		
開催場所		つくば市立春日学園義務教育学校 D棟2階多目的室		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	安部 綾乃 白井 奈々絵 森田 修司 山崎 誠治 樋口 直宏 中根 康貴 間野 聡子 東條 三郎 清水 朋子 春日学園 校長 増田 真智子 副校長 加瀬 雄一 教頭 飯田 英路 石宮 かおり 教務 久保 絵美 桃井 澄美 教諭 野中 大河 北原 慎太郎 藤村 直人 奥谷 大樹 南島 遥奈		
	その他	児童生徒会10名		
	事務局	生涯学習推進課 課長:澤頭 由紀子 参事:山口 健次 係長:松橋 千栄 社会教育主事:柴崎 英二 主任:山田 実里 主事:染谷 彩乃 地域連携教育指導員:酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
非公開の場合はその理由				
議題		熟議「春日フェスタ」のテーマづくり		
会議録署名人		確定年月日	年 月 日	
会議次第	1 開会 2 任命書交付 3 委員紹介 4 授業参観 5 説明・報告事項 ・令和8年度 つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について ・令和7年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和8年度地域と学校の連携事業予算計画について 6 会長・副会長選出 7 協議 (1)学校運営の基本方針について (2)熟議:「春日フェスタのテーマづくり」 (3)その他 ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について ・諸連絡 8 閉会			

<審議内容>

1 開会

加瀬委員：ただ今から、令和8年度 第1回 春日学園コミュニティ・スクール協議会を開会する。

はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたい。春日学園の久保委員にお願いしたいが、よろしいか。

→承認

2 任命書交付

加瀬委員：続いて、「任命書の交付」を行いたい。CS協議会委員の任命書及び地域学校協働活動推進員の委嘱状は、皆様の机の上に配布している。

お名前など御確認いただき、不備がある場合には、事務局までお申し出いただきたい。

なお、この会議において皆様は、非常勤特別職として任命され任期は今年度末までとなる。また、守秘義務等の責務がある。

3 委員紹介

加瀬委員：この後、授業参観があるので、自己紹介については、所属とお名前のみでよろしくをお願いします。

→名簿順に行う

4 授業参観

加瀬委員：授業参観に行きます。今回は時間が限られているので、すべての学年を回ることとはできないが、御理解をお願いします。

→1・7・8学年の授業と図書室利用の様子を参観

5 説明・報告事項

事務局（柴崎）：令和8年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目についての説明

・つくば市コミュニティ・スクールが目指すビジョンについて

・コミュニティ・スクール協議会重点項目について

① コミュニティ・スクール協議会委員の主体的な会議運営（子供たちの育ち・学びを支え合うパートナー・子供たちのためになる活動についての意見を出してほしい）

② コミュニティ・スクールの教職員への周知（現場の先生の困り感や課題を知ることによって地域学校協働活動につなげる）

③ CSコーディネーターの周知

・つくば市コミュニティ・スクール評価ガイドラインの活用方法について

・コミュニティ・スクールでの様子を写真・動画の取り扱いについて

・CSコーディネーターの紹介（森田委員・吉田委員・山崎委員）

加瀬委員：続いて、令和7年度地域と学校の連係事業決算報告及び令和8年度地域と学校の連係事業予算計画について本校教頭飯田より説明する。

学校（飯田委員）：令和7年度地域と学校の連係事業決算報告

・第1回春日フェスタ開催（外部講師、団体を招いての体験活動や児童生徒のブース発表

で約 80 万の支出) →地域と学校のつながりの第一歩となった。

令和 8 年度地域と学校の関係事業予算計画

・今年度開催する第 2 回春日フェスタをメインに支出していく。→6 年生と後期課程 7～9 年生がブースで発表をする。昨年度の経験を生かし、地域と学校で手を取り合って開催したい。

6 会長・副会長の選出

加瀬委員：協議の前に、会長と副会長の選出を行いたい。選出については、つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則の第 5 条第 2 項に「会長及び副会長は、委員の互選により定める。」とある。立候補される方はいるか。

いないようなので、昨年度、会長・副会長として活動していただいた樋口委員、桐生委員は引き続き協議会委員になっていただいているので会長を樋口委員に、副会長を桐生委員にお願いしたいと提案する。桐生委員は本日欠席だが、事前に了承をもらっている。皆様いかがか？

→異議なし

それでは、樋口会長は荷物を持ってお席の方に御移動ください。

この後は、樋口会長に進行をお願いする。

7 協議

(1) 学校運営の基本方針

樋口会長：それでは、協議に入る前に学校側から提案があるそうなので、飯田委員お願いいたします。

飯田委員：つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則第 6 条第 5 項によると、会長が必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聞くことができるとあるので、春日学園の児童生徒会 10 名の協議への参加を提案したい。

樋口会長：今、学校側から提案があった内容については、認めたい。児童生徒会の児童生徒たちをどうぞ中に入れてください。（児童生徒入室）

それでは、学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明及びグランドデザインを受けての特色ある教育活動について、増田委員より御説明をお願いする。

増田委員：学園グランドデザイン説明

・学校教育目標「未来を拓き社会に貢献できる人材の育成」

・めざす学校像「みんなが幸せを実感できる学校」→児童生徒教職員はもちろん保護者の皆様、地域の方々と共にある共に歩む存在でありたい。自分も友達も大切にする児童生徒を育成していくことを目指す。

・組織目標「自ら問いを見出し、対話を通して探究する児童生徒の育成」→義務教育学校のよさを生かして、教職員みんなで前期課程も後期課程も関係なく、児童生徒を育てていく。

・3つの柱「豊かな感性」「しなやかな知性」「たくましい心身」の基盤として、組織目標で目指す児童生徒を育成するための教育活動を現在展開しているところである。さらに、教育活動を行う基盤として、働き方改革、コミュニティ・スクール、コンプライアンス

スの確保を重視している。働き方改革では、まず 1つ目、義務教育学校の特色を生かした共同体制の確立。2つ目、部活動の地域展開の推進、3つ目、春日学園でよかったという充足感を得られる働きがいを伴う業務管理を中心として、教職員が心身ともに健康で働ける環境づくりを進めている。教職員の心身の健康が、児童生徒との関わりにつながり、教職員も児童生徒も春日学園でよかったと思える笑顔あふれる働き方改革にしていきたいと考えている。また、コミュニティ・スクール協議会を中心として、皆様と力を合わせて地域と共にある学校づくり、人づくり、地域づくりを推進していきたいと考えている。今年度末、みんなが幸せを実感できる学校、そして笑顔あふれる学園となっていくよう教職員一同、そして先ほど柴崎社会教育主事からお話があったが、子供を育てるパートナーである皆様と力を合わせ、邁進していきたいと思う。皆様の支援とご協力をこれからもお願いしたい。以上である。

樋口会長：ただ今の件につきまして、御意見や御質問があればお願いします。

→質疑等なし

樋口会長：それでは、令和8年度春日学園のグランドデザインに御承認いただける方は（拍手）をお願いしたい。

→承認について委員から拍手をもらう

樋口会長：ありがとうございました。校長先生におかれましては、本内容にて学校運営をお願いします。

樋口会長：続きまして、春日学園の児童生徒会より、今年度の児童生徒会の活動テーマについて、説明をお願いしたい。

児童生徒会：児童生徒会のテーマについて説明

春日学園義務教育学校令和8年度児童生徒会の取り組みについて発表させていただく。笑顔ふれる学園へというテーマのもと、私たちがどのような学校を目指しているかお話しさせていただきます。

本日の発表内容は、大きく分けて3つである。1つ目に春日学園の現状分析。2つ目に今年度のスローガンと目標。そして3つ目に具体的な取り組み計画についてである。

まず、私たちの学園の現状についてお話しする。私たちは自らの課題を地域との関わりがまだ十分ではないこと、そして児童生徒一人一人が主体となって輝く場をさらに広げていく必要があることだと捉えている。一方で、義務教育学校としての9年間のつながりや進んだICT教育、そして昨年初めて開催した春日フェスタなど、伸ばしていきたい強みもたくさんある。これらの強みを生かし、地域の方々と手を取り合いながら課題を解決していきたいと考えている。

そんな私たちが掲げた今年度の目標がこちらの「咲き誇れ 一人一人が輝ける笑顔あふれる学園へ」である。この言葉には1年生から9年生までの全ての児童生徒が、それぞれの個性のつぼみを咲かせて、学校全体が笑顔で満開になるようにという願いが込められている。

この目標を実現するために、3つの具体的な指針を立てた。1つ目は個性の開花である。誰もが新たな挑戦に安心して取り組める環境を作ることである。2つ目は、全員が主役であること。行事や日常の中ですべての生徒にスポットライトが当たる機会を作る。3つ目は笑顔の連鎖である。日々の挨拶や用事を通して笑顔の輪を広げていくスマイルを推進していきたい。

最後に来年度に向けた具体的な計画である。特に力を入れたいのが地域の方々との交流を深める春日フェスタの開催である。今年度は6年生から9年生がブースを開く予定となっている。昨年度以上に地域の方や保護者の方にご協力いただけると嬉しい。また、1年生から9年生が交流する縦割り活動や自分たちの手で学校をよりより良くしていく委員会活動の活性化にも取り組む。春日学園祭を企画運営し、笑顔と一体感のある春日学園を実現していきたいと考えている。私たち児童生徒会では、この春日学園が地域の方々にとっても自慢の学園となるように全力で取り組んでいきたい。皆様には今後とも御支援御協力いただけるようお願いしたい。御清聴ありがとうございました。

樋口会長：ただ今の件につきまして、御意見や御質問があればお願いします。

→質疑等なし

(2) 熟議「春日フェスタ」のテーマづくり

令和8年度「春日フェスタ」に向けて

樋口会長：今年度の「春日フェスタ」についてどのように進めていきたいと考えているか、学校側から説明をお願いしたい。

学校(飯田委員)：お手元の資料の中に春日フェスタについて案ということで、1枚紙があるので、御覧ください。今の児童生徒会からも話があったように、「春日フェスタ」を学校を核とした「地域づくり」の一助とすること、「春日フェスタ」をきっかけとして、学校経営に地域の力を生かしていくことを目指すことの2つをねらいとしている。詳しくは資料の方を御覧ください。日時は10月25日の日曜日を予定している。日程だが、8時15分に登校して、児童生徒を昨年は午前で帰して、午後は保護者と参加という形をとっていたが、今年度については、今学校側の方で議論しているので、この後決定したらすぐに周知したいと思っている。ブースの方は先ほどお話があったとおり、6年生から9年生が今少しずつ準備を始めている。現段階のところで、決まっていることを学年の方から説明する。

9年(野中委員)：つくばスタイル科の学習の成果発表

8年(藤村委員)：職場体験での成果発表(キッザニアのようなもの)

7年(奥谷委員)：つくばスタイル科での学びの成果発表(福祉・環境・平和・防災等)

6年(南島委員)：前期課程での学びの成果発表(7グループ程度・環境・防災・伝統文化等)

樋口会長：それでは、今の内容を踏まえて、熟議に入る。熟議を進行するにあたり、ファシリテーターを飯田委員をお願いしたい。皆さん、よろしいか。

では、飯田委員よろしく願います。

ファシリテーター(飯田委員)：熟議テーマについて説明、熟議の進行の説明等

それでは今、学年の発表からもあったが、テーマについて議論し、最終的には児童生徒会の方で春日フェスタのテーマを決定していきたいと思っている。今日はキーワードとかテーマとかをたくさんいただきたい。各グループには昨年第1回春日フェスタを経験されている方がいるので、様子など話してから、イメージ等いろいろ出し合い、テーマの方を決めていっていただきたい。

(グループ内での熟議)

まとめ グループ協議後、7グループの内3グループの話合い内容を発表する。

【A班】

・3つの柱で考えた。①ドッキン・楽しい②体験×学び③春日フェスタの意義(幅広い世代とつながる・将来につながる)

・昨年度は後期課程が各ブースを見る時間が足りなかったため、今年度は改善できるという。

【B班】 学習発表会に近いものをやりたい。自分たちが学んでいることや夢を伝えたい。トークフォークダンスで地域と交流してみたい。

【C班】 春日万博を提案したい。「好き」や「強み」をいかしたまちづくり。自分たちのやりたいことを発表する。10年後の春日を見据えた展示や発表をしたい。

ファシリテーター(飯田委員)：皆様ありがとうございました。テーマについては、本日は話し合っていたいただいた内容をもとに児童生徒会の方で、考えていく。次のコミュニティ・スクール協議会が7月になってしまうので、決まった段階で協議会の委員の方々には、メール等でお知らせする。どうもありがとうございました。

樋口会長：飯田委員、ありがとうございました。

(3) その他

樋口会長：最後に御出席のみなさんから何かあるか？

事務局：

- ・コミュニティ・スクール紹介動画について
- ・コミュニティ・スクールの連絡方法について
- ・欠席した委員さんへの任命書の取り扱いについて

樋口会長：では、今後の連絡方法と、次回開催予定日等について、飯田委員、よろしくお願ひします。

飯田委員：まず、今後の連絡方法についてだが、メールでの連絡を基本とし、開催文書等もメールで送付する形で進めていければと考えている。また、本年度、4回のコミュニティ・スクール協議会を予定している。第2回以降の開催日時につきましては、資料の表紙にあるとおりである。

8 閉会

樋口会長：本日の「協議」の内容は、以上となる。

また、本日の会議の様子は、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載予定である。差し支えのある場合は事務局まで。

以上で令和8年度 第1回春日学園コミュニティ・スクール協議会を閉会する。

令和8年度第1回春日学園コミュニティ・スクール協議会

日時：令和8年5月26日（火） 10:00～11:30

場所：春日学園義務教育学校 D棟2階多目的室

次 第

- 1 開 会
- 2 任命書交付
- 3 委員紹介
- 4 授業参観
- 5 説明・報告事項
 - ・令和8年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について
 - ・令和7年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和8年度地域と学校の連携事業予算計画について
- 6 会長・副会長の選出
- 7 協議 10:40～11:25
 - (1) 学校運営の基本方針について
 - (2) 熟議：「春日フェスタ」のテーマづくり
 - (3) その他
 - ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について
- 8 閉会

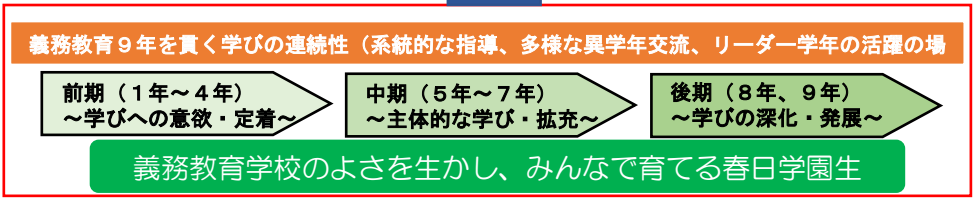
◎コミュニティ・スクール協議会の今後の予定
第2回：7月7日（火） 14:30～16:00
第3回：9月14日（月） 15:00～16:30
第4回：2月17日（水） 15:00～16:30
（春日フェスタ：10月25日（日）実施予定）



<p>【茨城県教育目標】</p> <p>◇ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう ◇じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う ◇郷土を愛し協力しあう心を育てる</p>	<p>【学校教育目標】</p> <p>未来を拓き 社会に貢献できる人材の育成</p>	<p>【つくば市の目指す学園・学校像】</p> <p>みんなが幸せを実感できる学園・学校 ～自己実現できる学校・みんなで支え合い、みんなが生き生きした学校～</p>
	<p>【目指す学校像】</p> <p>みんなが幸せを実感できる学校</p> <p>○夢や目標に向かって成長を実感できる ○自分らしく楽しく学べる ○一人一人の居場所がある</p>	<p>【つくば市で目指す考え方の転換】</p> <p>①「教え」から「学び」へ ②「管理」から「自己決定」へ ③「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ</p>

<p>【目指す教師像】</p> <p>ともにあり、ともに歩む教師</p> <p>○子どもの「伴走者」であろう ○小さな変革を楽しむ「挑戦者」であろう ○「最高のチーム」の当事者であろう</p>	<p>【目指す児童生徒像】</p> <p>自分も友達も大切に作る児童生徒</p> <p>○自ら問いをもち、探究しよう ○自分の心で深く考えよう ○困難なことにも目向きに立ち向かおう</p>	<p>【児童生徒会スローガン】</p> <p>咲き誇れ ～一人一人が輝ける 笑顔あふれる学園へ～</p>
--	--	--

【組織目標】 自ら問いを見出し、対話を通して探究する児童生徒の育成



ゆたかな感性	しなやかな知性	たくましい心身
<p>★自分の目で物事を見て、自分の心で深く考えようとする姿</p>	<p>★自ら問いを見出し、対話を通して試行錯誤しながらも課題を解決しようとする姿</p>	<p>★命の尊さを知り、困難なことにも前向きに立ち向かおうとする姿</p>
<p>①豊かにかかわり合う力の育成 ◎学級活動や児童生徒会活動等における自発的・自治的な活動の推進 ○人権意識を育む環境づくり ○外部人材を活用した豊かな体験活動</p> <p>②児童生徒支援の充実 ◎互いに認め合い、励まし合い、関心を抱き合える集団の構築 ・グループワークや構成的グループエンカウンターの計画的な実施 ○自己肯定感や自己有用感の育成</p> <p>③道徳教育の充実 ◎学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実 ◎いじめの未然防止に向けた、「考え、議論する道徳」への質的充実</p>	<p>①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ◎多様な他者と協働して試行錯誤しながら解決する教育活動の充実 ○納得と感動(なぜ?わかった!できた!)のある授業づくり ○教科担任制による専門性を生かした魅力ある授業</p> <p>②ICT教育の推進 ◎思考を助ける手立てとしてのICT活用 ○情報モラル教育の充実 ○個別最適な学びと協働的な学びの充実 ○9年間を見通したプログラミング教育と生成AIを活用した授業</p> <p>③特別支援教育の充実 ◎特別支援教育の視点を大切にした学級経営・授業実践 ◎一人一人の教育的ニーズに合った適切な支援</p>	<p>①自己理解・自己管理能力の育成 ◎振り返りの充実によるメタ認知能力の育成 ◎自己の生き方を見つめる系統的なキャリア教育</p> <p>②健やかな身体づくり ◎運動量の確保と継続して運動に親しむ態度の育成 ○基本的生活習慣の定着 ○薬物乱用防止教室、命の教室等の充実</p> <p>③安心・安全な教育環境づくり ◎危機回避能力を育てるための計画的な防災・安全教育 ◎教育相談の充実とSC、SSWとの連携・チーム支援の充実 ○不登校児童生徒支援Sルーム(たいう)の充実)</p>
<p>★自分にはよいところがある。 (前期：85%以上 後期：80%以上) ★いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 (前期：100% 後期：100%)</p>	<p>★課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。 (前期：85% 後期：90%以上) ★話し合いを通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。 (前期：85%以上 後期：85%以上)</p>	<p>★難しいことでも失敗を恐れないで、挑戦している。 (前期：75%以上 後期：70%以上) ★何でも相談できる人(友達、先生、家の人など)がいる。 (前期：90%以上 後期：85%以上)</p>

【働き方改革の推進】	①義務教育学校の特色を生かした協働体制の確立 ②部活動の地域展開の推進 ③春日学園でよかった！という充足感を得られる働きがいを伴う業務管理
【コミュニティ・スクール】	地域とともにある学校づくり・人づくり・地域づくり
【コンプライアンスの確保】	「学校から決してコンプライアンス違反は出さない」という意識の醸成、心理的安全性の確保